



月刊 さいとう健

臨時号

平成23年9月20日発行



「当選3年目の 8月30日を迎えて」

昭和34年、小さな写真屋に生まれる。
 大学時代は、ハンドボール部のキャプテンとして活躍。
 零細企業に育ったこともあり、中小企業を担当する通商産業省に入省。
 日米交渉や行政改革、地方行政（埼玉県副知事に出向）などに携わる。
 平成18年衆議院千葉七区補欠選挙にて公募により選ばれるも、惜敗。
 平成21年衆議院総選挙において、比例南関東ブロックで初当選。
 現在、石破茂政務調査会長一さいとう健事務局長のラインで活動中。
 【趣味】 読書、カラオケ、ハンドボール
 【好きな食べ物】 ラーメン、焼肉（特にカルビとハラミ）

さいとう健 後援会事務所(千葉銀行おたかの森支店裏)

〒270-0137 流山市市野谷665-40-103

TEL:04-7157-6223 FAX:04-7157-6224

E-mail : info@saito-ken.jp

さいとう健 国会事務所

〒100-8981

千代田区永田町2-2-1衆議院第一議員会館822号室

TEL:03-3508-7221 FAX:03-3508-3221

さいとう健が当選をさせていただきましたのは、ちょうど2年前の今日でした。今思い出しましても、あの逆風の選挙でよく生き残ったものだと、感無量であります。これも皆さんのご支援のおかげだなあと、改めて感謝の気持ちでいっぱいであります。

この2年間、さいとう健は、自分なりに全力で走ってまいりました。特に、大震災後は本当に忙しく、自分の時間などない日々を過ごしてまいりました。

お蔭様で、自民党提案の「復興基本法案」の立案においても主体的な役割を果たすことができ、さいとう健発案の復興庁構想も実現の運びとなりました。【コラム1】

また、菅前総理の退陣条件でもあった、「再生可能エネルギー買取法案」の修正案策定においても、これまでの経験を生かして貢献をすることができました。

さらには、8月26日に国会を通過した通称「放射能汚染対処法案」も、自民党提案の議員立法であります。地元放射線問題の解決のために、政府提案ではありえない、相当面期的な条文を盛り込ませることができました。【コラム2】

2年前に当選させていただきましたとき、メルマガに次のように書きました。

「民主党は、あのマニフェストでは、早晚自滅しますので、民主党との対決に時間とエネルギーを費やすよりは、自民党の自己改革にあらゆる努力を注ぐべき。党が変われば、結果はついてくる。」

この言葉通り、民主党は自滅しつつありますが、一方のわが党はどうでしょうか？

残念ながら大きな前進は見られません。

(裏面に続く)



国会も可能な限り自分でご案内いたします。

「国会見学」のご案内

さいとう健は、時間の許す限り、国会議事堂内を一緒に案内いたします。何名様でも結構ですので、お声かけいただければと思います。

お問い合わせは、事務所(04-7157-6223)までお気軽にどうぞ。



ミニ集会は、さいとう健の原点です。

「ミニ集会」のご案内

さいとう健は、皆様とひざをつき合せて意見交換ができるミニ集會を、活動の原点としております。二人でも三人でも結構ですので、ぜひ企画してお呼びいただければ幸いです。

お問い合わせは、事務所(04-7157-6223)までお気軽にどうぞ。



地元名産のおいしい枝豆を毎年楽しみにしています。



鷹を方手に1枚。爪は隠していませんでした…。



ホットスポット問題について、真摯にお答えします。

今月の一枚

**厳しい国難のときを迎えましたが、
みなさんの力を合わせて共に、
このより坂を登りましょう！**

メルマガ **さいとう健**

名前・住所の登録不要。

月刊さいとう健では伝えきれない内容満載。

返信すれば匿名で意見を伝えられます。

<http://www.saito-ken.jp/info/melmaga.html>



討議資料

次期総選挙まで、残された時間は限られております。震災復興に最大限の尽力をするとともに、新しい健全な政治の実現のために汗をかき続ける、今日という当選2年経過の記念すべき日を迎えて、静かに決意しているところです。

平成23年8月30日

衆議院議員 さいとう健

コラム1 復興庁構想は、さいとう健の発案？

中央政府では、道路、港湾、鉄道、都市計画、産業振興、農地などなど各省各局に分かれている権限を、被災地の復興に関しては、復興庁という組織に一元化し、縦割りの弊害をなくして迅速に対応できるようにしようというもの。加えて、各省に気がねすることなく一存で決定できるようになるため、日本全国ではできないような大胆な新しい政策をどんどん実行できるようになります。これは、さいとう健の提案が自民党案に盛り込まれ、最終的に公明党、民主党も受け入れ、実現されたものです。

一番最初にさいとう健が党に対して提案をした内容が、さいとう健のホームページに掲載されております。これによりますと、3月25日にさいとう健がこの組織の設立について提案したことになっております。

コラム2 議員立法で地元放射線問題を前進

「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」のポイント

1. 清掃工場内にたまっている放射性焼却灰については、市町村ではなく国の責任で処理することを明文化。
2. ホットスポットの除染は市町村が実施するものの、費用は国が負担することを明確化。

これから法施行（来年1月1日）に向けて、政府から骨抜きにしようという動きが出ることが予想されますが、少しでもいいものになるよう、さいとう健は監視の目を光らせ続けます。



やっぱり、この男に！